

2017年10月期第2四半期 決算説明会資料

2017年6月9日
株式会社モルフォ
(東証マザーズ：3653)

本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。

当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

目 次

1

2017年10月期 第2四半期決算概要

2

2017年10月期 下期戦略

3

2017年10月期 新製品のご紹介

1

2017年10月期 第2四半期決算概要

第2四半期 連結損益計算書/貸借対照表



連結損益計算書

科目	2016年10月期 第2四半期累計	2017年10月期 第2四半期累計	増減額
			増減率
売上高	1,040	1,200	+160 (+15%)
営業利益	426	483	+57 (+13%)
経常利益	364	507	+143 (+39%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	258	379	+121 (+47%)

単位：百万円

連結貸借対照表

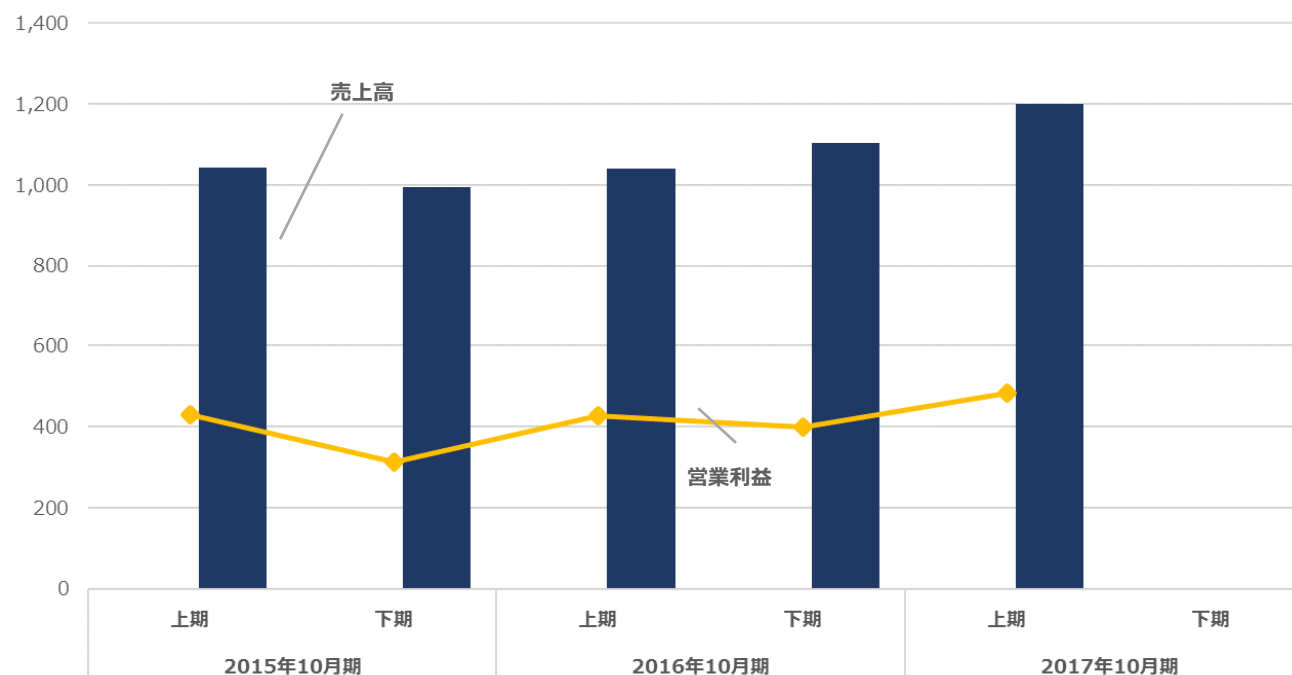
科目		2016年10月期	2017年10月期 第2四半期末	前期末対比		
				増減額	増減率 %	主な要因
	流動資産	3,724	4,220	+495	+13%	【流動資産】 現預金+393百万円、売掛金+66百万円等 【固定資産】 有形固定資産+11百万円、無形固定資産+12百万円、繰延税金資産▲23百万円等
	固定資産	338	342	+3	+1%	
	資産合計	4,063	4,562	+498	+12%	
	流動負債	253	280	+26	+11%	【流動負債】 未払法人税+49百万円、 未払金▲28百万円等 【固定負債】 長期借入金▲8百万円等
	固定負債	53	49	▲3	▲6%	
	負債合計	306	330	+23	+8%	
	株主資本	3,740	4,211	+471	+13%	【株主資本】 利益剰余金+166百万円、 自己株式減少+304百万円等
	純資産合計	3,756	4,231	+475	+13%	
	負債・純資産合計	4,063	4,562	+498	+12%	

半期業績の推移



単位：百万円

科目	2015年10月期		2016年10月期		2017年10月期
	上期	下期	上期	下期	上期
売上高	1,042	995	1,040	1,102	1,200
営業利益	428	313	426	398	483
営業利益率	41%	32%	41%	36%	40%
経常利益	477	307	364	388	508
親会社株主に帰属する当期純利益	349	253	258	249	379

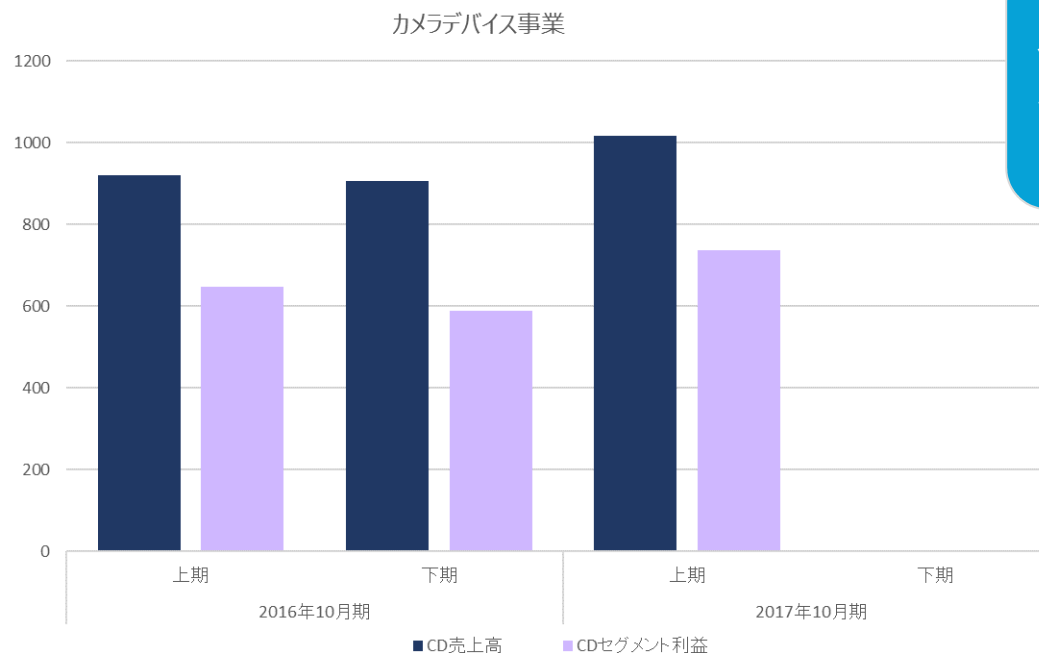


半期業績の推移ーセグメント別 【カメラデバイス事業】

カメラデバイス事業

単位：百万円

科目	2016年10月期	2017年10月期	
	上期	上期	増減 (対前年同期比)
売上高	920	1,017	+97 (+10.5%)
セグメント利益	648	737	+89 (+13.7%)
セグメント利益率	70%	72%	+2ポイント



スマートフォンメーカーからのロイヤリティ収入がほぼ横ばいで推移した一方、車載向けの開発収入等が増加した。



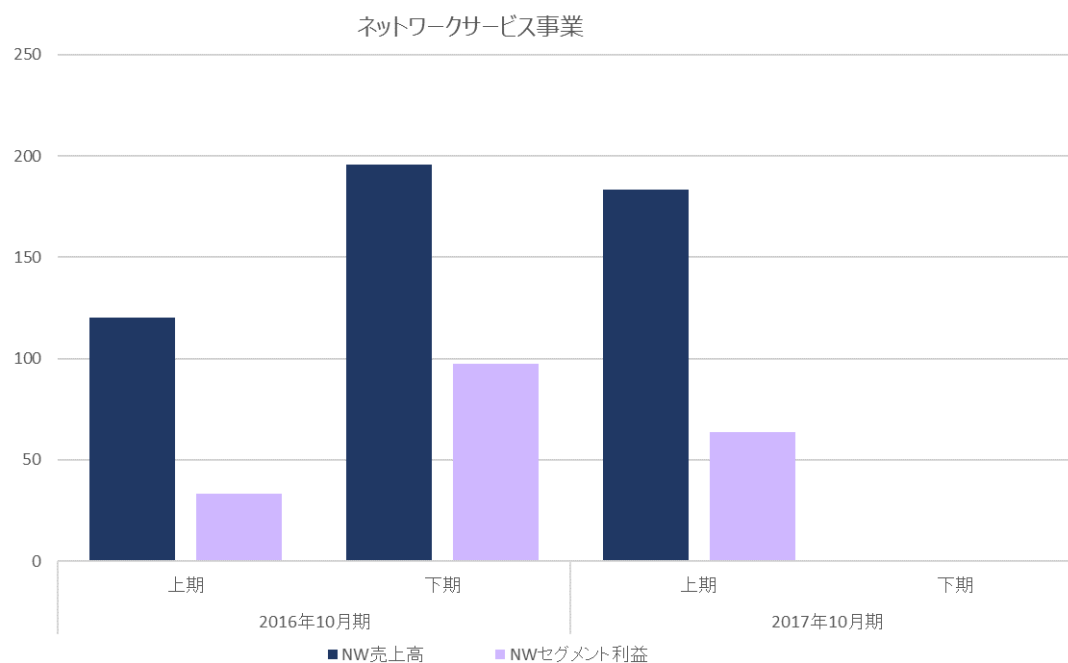
半期業績の推移ーセグメント別【ネットワークサービス事業】



単位：百万円

ネットワークサービス事業

科目	2016年10月期	2017年10月期	
	上期	上期	増減 (対前年同期比)
売上高	120	183	+63 (+52.5%)
セグメント利益	33	63	+30 (+91.3%)
セグメント利益率	28%	35%	+7ポイント



クラウドサービス事業者や放送事業者から、電子機器メーカー、医療関連事業者等へと顧客の幅が広がり、ロイヤリティ収入および開発案件が共に増加した。

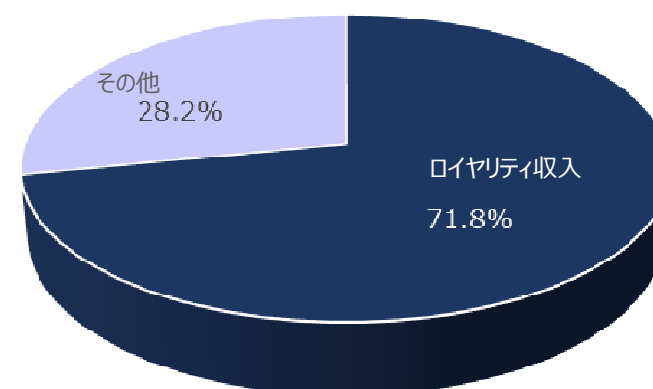
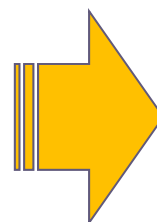
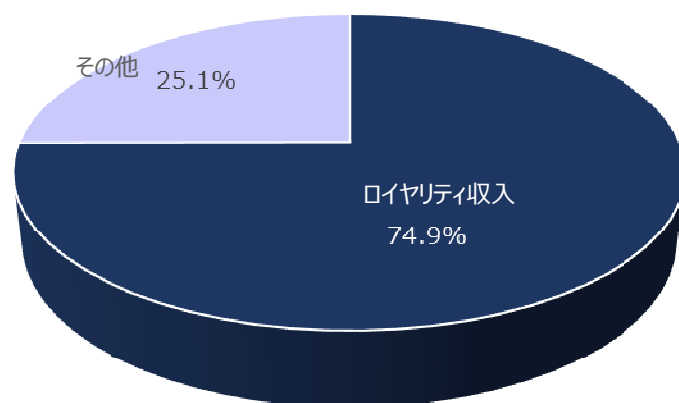


売上高構成 –前年比較



単位：百万円

収益区分	2016年10月期 通期		2017年10月期 第2四半期	
	金額	割合 %	金額	割合 %
ロイヤリティ収入	1,606	74.9%	862	71.8%
その他収入	537	25.1%	338	28.2%
合計	2,143	100.0%	1,200	100.0%



ソフトウェア製品別の売上高構成

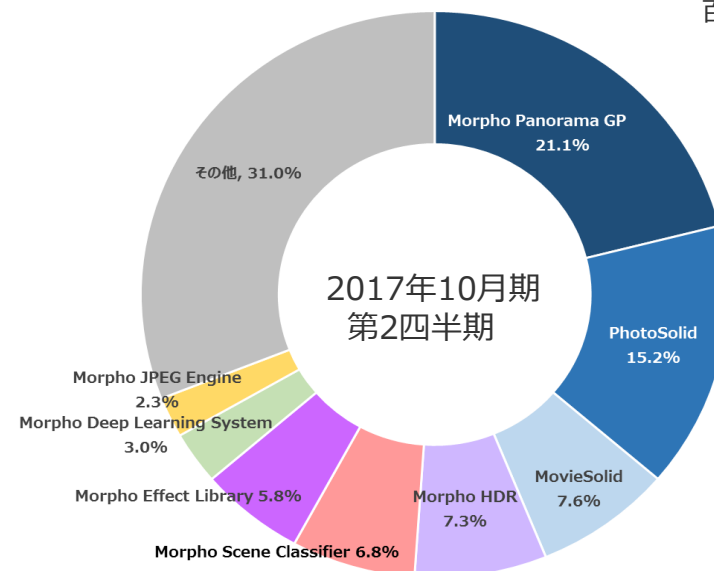
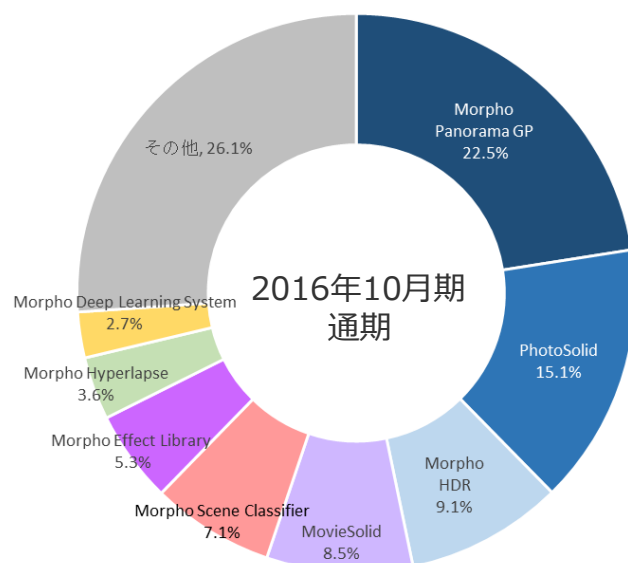


単位：百万円

製品名	2016年10月期 通期	
	金額	割合 %
Morpho Panorama GP	482	22.5%
PhotoSolid	324	15.1%
Morpho HDR	194	9.1%
MovieSolid	181	8.5%
Morpho Scene classifier	152	7.1%
Morpho Effect Library	114	5.3%
Morpho Hyperlapse	77	3.6%
Morpho Deep Learning System	56	2.7%
その他	558	26.1%
合計	2,143	100.0%

製品名	2017年10月期 第2四半期	
	金額	割合 %
Morpho Panorama GP	253	21.1%
PhotoSolid	182	15.2%
MovieSolid	90	7.6%
Morpho HDR	87	7.3%
Morpho Scene classifier	81	6.8%
Morpho Effect Library	69	5.8%
Morpho Deep Learning System	36	3.0%
Morpho JPEG Engine	27	2.3%
その他	371	31.0%
合計	1,200	100.0%

百万円以下切捨

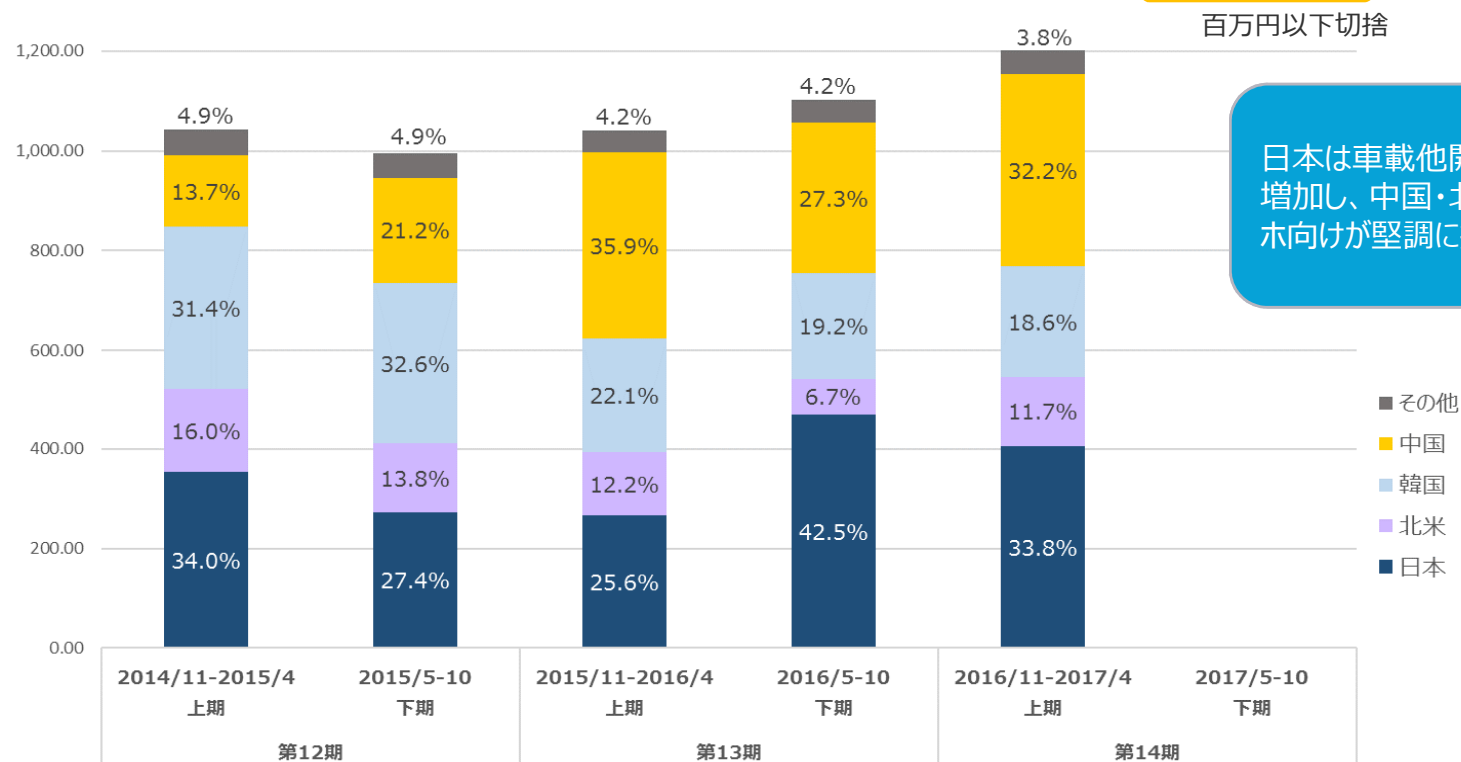


地域別売上高推移



地域	2015年10月期 上期	2015年10月期 下期	2016年10月期 上期	2016年10月期 下期	2017年10月期 上期
日本	354	273	266	468	406
北米	166	137	126	74	139
韓国	327	324	230	211	222
中国	194	259	409	334	386
その他	0	0	7	12	45
合計	1,042	995	1,040	1,102	1,200

単位：百万円



2017年10月期 業績見通し



単位：百万円

連結損益計算書

科目	2015年10月期	2016年10月期		
	通期実績	上期実績	通期予想	対前年増減額
売上高	2,143	1,200	2,500	+357
営業利益	824	483	950	+126
営業利益率	39%	40%	38%	-
経常利益	753	508	950	+197
親会社株主に帰属 する当期純利益	507	379	650	+143

2

2017年10月期 事業の動向と進捗

戦略 1 . カメラデバイス事業に関する進捗



第14期の課題

第14期の進捗

戦略 1 カメラデバイス事業 の伸長・拡大

- ・スマホ市場シェアNo.1
＞＞ 競合製品やメーカー各社による内製を打破し、スマホ市場シェアNo.1を目指す
- ・新規カメラデバイス事業確立
＞＞ 車載カメラ事業の確立
- ・中国市場での更なる拡大
＞＞ パートナースhipを強化し深耕拡大・新規開拓

- ・市場での圧倒的な技術力
 - 20億ライセンス達成
 - 第三者機関（DxO Mark）による画質評価で世界最高水準のスコアを獲得
 - 「Morpho Panorama Giga Pixel」の採用
- ・車載向け技術開発の進展
- ・中国市場での売上拡大
 - ミドル・ローエンドの顧客開拓

更なる技術力の強化・中国市場でのPartnership強化・新興市場への取組みでシェア拡大へ

スマートフォン製品技術の動向と評価

モルフォ製品搭載のスマートフォンが2年連続で世界最高のカメラ性能評価を獲得 ～HTC社の「HTC U11」がDxOMark Mobileで高スコアを記録～

HTC社の最新フラグシップスマートフォン「HTC U11」シリーズが、「DxOMark」モバイル端末部門のスコアにおいて、Google製ハイエンドスマートフォン「Google Pixel」を超え、世界最高評価となる90点を獲得。

- ・静止画手ブレ補正技術『PhotoSolid®』
 - ・動画手ブレ補正技術『MovieSolid®』
 - ・高精度HDR（ハイダイナミックレンジ）合成技術『Morpho HDR™』
- 等の製品を供給

HTC社製スマートフォンでは、昨年発表の「HTC 10」に続き、2年連続で世界No.1となる高い性能評価となりました。

【DxOMarkについて】

DxOMarkとは、2003年にフランスで設立されたDxO Labs社が提唱している撮像性能評価基準です。DxOMarkに基づき、DxO Labs社はカメラ、レンズおよびモバイルの性能評価を行っており、その評価結果はグローバルで注目されています。公式サイト：<http://www.dxomark.com/>

当期戦略2.ネットワークサービス事業の確立



	第14期の課題	第14期の進捗
戦略2 ネットワークサービス 事業の確立	・ディープラーニング関連 ＞＞「Deep Learning System」の 商用ライセンス化により、収益と売上の バランスの取れた成長を目指す ・放送局関連 ＞＞映像処理のクラウド型サービスの 提供開始海外顧客の取り込み	・新規事業領域での採用 -臨床検体検査分野への画像処理技術の 応用（SRLと業務提携） ・前期開発案件の結実 -ロイヤリティー収入への切り替え増加 ・放送局関連への知名度UPへ -海外展示会を中心に4K対応技術を プロモーション

当社第2の新規事業領域として順調に成長中
Deep Learningを軸に幅広い分野への進出を目指します

ディープラーニング関連 新規事業領域での採用

エスアールエル

×

Morpho

『株式会社エスアールエルとの業務提携』

▶ 臨床検体検査分野への画像処理技術の応用

人工知能型学習・推論・物体認識技術および画像処理関連技術の検体検査への適用に関する個別の共同開発プロジェクトを実施

第1ステップとして、ディープラーニングをベースとした人工知能型画像・物体認識技術、及びそれに付随する画像処理技術を、染色体検査等に応用することに関する共同研究開発を開始します。

3

新製品のご紹介

全天球画像合成ソフトウェア

『Morpho Spherical Video™』

背中合わせに配置された2台の広角カメラで撮影した画像を合成して全天球画像を生成します



GPUを利用した画像処理により、4Kサイズの画像に対してモバイル端末上でリアルタイム処理が可能です。

お問い合わせ先

管理部 経営企画グループ

T E L : 03-3288-3288

E-Mail : m-info-ir@morpho-inc.com